

- 1 会議名 新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会
- 2 日 時 令和2年5月29日（金）
開会 午前11時17分
閉会 午後 0時03分
- 3 場 所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 （委員長）須藤智子、（副委員長）大野慎治
（委員）片岡健一郎、谷平敬子、水野忠三、堀巖、榊谷規子
（委員外議員）議長 梅村均、副議長 鬼頭博和
- 5 欠席委員 なし
- 6 説明員 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 7 委員長あいさつ
- 8 議題
- （1）新型コロナウイルス感染症対策支援に係る意見書について
 - （2）新型コロナウイルス感染症対策支援に係る要望書について
 - （3）その他

新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会（令和2年5月29日）

◎委員長（須藤智子君） それでは皆さんおそろいですので、ただいまから新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会を開催いたします。

それでは次に、議題に入ります。

(1)の新型コロナウイルス感染症対策支援に係る意見書についてを協議いたします。

◎副委員長（大野慎治君） 地方創生臨時交付金は2兆円閣議決定して、今日政府が国会に出すことがもう決まっていますので、この意見書自体がもう無効になって、今後17日の会議まで、2週間以内に国会を通ることがほぼほぼ見えていますので、この意見書を出すことはもう必要ないのかなと思います。

◎委員長（須藤智子君） ほかに御意見はございますか。

よろしいですか、その意見書を出さないということで。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（須藤智子君） それでは、次の(2)に移ります。

新型コロナウイルス感染症対策支援に係る要望書についてを議題といたします。

要望書の案をお願いします、副議長。

◎副議長（鬼頭博和君） では、皆さんのお手元にちょっと配らせていただきましたけれども、公明党のほうから避難所における感染防止対策の強化等についての要望ということで、市長のほうに緊急で6月議会の前に要望を入れていただいて、早急にこういった梅雨のシーズンとか台風のシーズンに備えてということで、こういった要望をしていただきたいということで、公明党のほうからお願いしてもいいんですけども、せっかく特別委員会がありますので、この委員会のほうで諮っていただいて出していただければなということで作りました。

◎委員長（須藤智子君） 読み上げてもらいますか。初めて見る人もいるね。

◎副議長（鬼頭博和君） 上からちょっと読ませさせていただきます。

避難所における感染防止対策の強化等についての要望。

国民の皆様の努力と協力によって、新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向に転じ、全国で緊急事態宣言が解除され、事態は着実に収束に向かっている。しかしながら、治療薬の開発や検査体制の拡充も含め、医療供給体制の整備が不十分なままでの宣言解除に不安の声も大きく、あらゆる手だてを講じた迅速な感染拡大防止対策が求められる。

特に、梅雨期や台風シーズンを控え、大規模災害が発生した場合に備え、避難所における感染症対策に万全を期することが重要である。市議会にも避難所が「3密」状態になるということを危惧する多くの市民の声が寄せられている。国・県と連携し、備蓄の強化、避難所の拡大、避難所運営の人材育成・確保等、地方創生臨時交付金等を活用し、速やかに対策を講じる必要がある。

そこで、地域住民が安心して安全に避難所を利用できるよう、避難所における感染防止対策の強化について、下記の点を要望するものである。

記1. 避難所におけるマスク、体温計、消毒液等の資材確保をはじめ、感染防止対策として必要な段ボール間仕切り、段ボールベッド、パーティション等の備蓄や整備を強化すること。

2. 可能な限り多くの避難所を開設するため、市が所有する研修・宿泊施設・公民館等や旅館・ホテル等を活用した分散避難体制を速やかに構築すること。また、親戚や友人の家等への避難の周知も行うこと。

3. 災害ボランティア、消防団等が安全かつ円滑に被災者支援に携われるよう、ボランティア団体の経営サポートや支援団体の体制強化を図り、被災者支援の環境整備を行うこと。

4. 避難所の負担を軽減するため、非常用持ち出し袋等にマスクや消毒液等の感染予防グッズを備蓄する等、自助の向上の啓発を強化すること。

ということで、この4点申し入れをしたいなと思います。

◎委員長（須藤智子君） この要望書につきまして、何か御意見、御質問、分からないことなどありましたらお願いします。

◎副委員長（大野慎治君） 私、通告してしましまして、一般質問で同じ内容を。通告しておりますので、今出されてもちょっと、僕は一般質問をやめるつもりはございませんが、内容がほぼかぶっていますので、出されてもいいですけど、僕は一般質問をやめるつもりはございませんので、よろしくお願いたします。昨日の段階で通告しております。御承知の上で対応していただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

◎委員長（須藤智子君） ほかに御意見ありますか。

◎委員（堀 巖君） 今の関連で、これを出すとするタイミングはどのように考えてみえるんでしょうか。

◎委員長（須藤智子君） 早いほうがいいですね。

◎副議長（鬼頭博和君） できれば議会前に要望書を提出したいなとは思っているんですけども、今、大野さんが言われたように、各議員さんがやっぱりこういったことを考えて、今回質問されると思いますので、そういった

こともかぶっても別にいいと思いますので、そういった形で議会の前にできたら行いたいなというふうに思っています。

◎委員長（須藤智子君） そうしますと、日程的には来週の月火水ぐらい。4日からになるからね。

これは提出するのは正・副議長。

何か質問ありますか。

◎副委員長（大野慎治君） 今日頂いて今日決めるというのも。事前に頂いていれば僕は何とも思わなかったんですけど、僕も質問も配慮したと思えますけど、今日頂いて今日出すよという話と、まずひとり親の方、国で今回一定配慮されますが、前回の要望書で聞いていただいている項目に対しての追加要望というのはするべきだと思うんですよ、やっていないんだから。まずそっちを1つ出して、さらにこれを出すというんだったら分かるんですけど、1回目の要望で回答が予算化されていないものに対しては再度要望しないと、それで終わったのかということになってしまうので、そっちのほうをしっかりと対応するべきだと思います。

◎委員長（須藤智子君） 前回の要望でやっていないものって出されていますか。ピックアップしていますか。

◎委員（梶谷規子君） だから、今大野さんが言われたのに賛成で、そのために今日やったのがまずだと思うんですよ。2回今まで要望書を出して、それは代表者会議という形でやったんですけど、初めて代表者会議を、このコロナウイルス感染症に特化した特別委員会ができて、通算では3回目になるということですが、2回までの要望の中でまだ予算化されていない取り残していることが何なのか、そこが2つあると思うんですよ。ひとり親のところと商工振興で、一般質問とも今後かぶってくるかなと思うんですけど、堀さんが一番初めに言われたやつなのかな。要望書の、今日配付されていないけど、2番目にあったやつだったっけ。6項目のうちの4項目は予算化されたと思うんですけど、就学援助の子どもたちに給食費の、4月、5月分だけだけど、それとか。

◎委員長（須藤智子君） 要望書の控えてありますか、当局に。4月27日のはあるけれども。

暫時休憩します。

（休 憩）

◎委員長（須藤智子君） それでは、休憩を閉じて再開します。

この要望書について、まだ実現されていないものは、5番の生活支援として、児童扶養手当を支給しているひとり親家庭に対してできる範囲で一定金

額を上乗せして支給してくださいですね。これができていないということですよ。2番、休業要請が解けたときに、市内の消費を喚起し、事業継続に希望を与えるための経済的支援を行ってください。2番と5番。

じゃあ、この2と5はもう一度要望するということですか。

◎副委員長（大野慎治君） 2は、テイクアウトチケットがその一環になっています。だから、プレミアム商品券とは書いていないので、テイクアウトチケットでとりあえずもう5月22日に配付して、今も毎日使われるようになりましたけど、やっていないという言い方はおかしいと思いますよ。それはプレミアム商品券と書いてあれば別ですけど、プレミアム商品券とは書いていないので、テイクアウトチケットを配付したということで、一定行政としては対応しているというふうに考えます。

すみません、マイク入れていませんで申し訳ございませんでした。委員長、大変、申し訳ございませんでした。失礼いたしました。

◎委員長（須藤智子君） もう一度新しくつくるということ、その項目を。

◎委員（堀 巖君） 大野委員の意見に賛成ですので、そのことも踏まえて、さらにそのことも書いてもいいし、テイクアウトチケットのことをやってももらったという事実も書きながら、さらに継続的に希望を与える施策に取り組んでくださいという表現ではいかがでしょうか。

◎委員長（須藤智子君） じゃあ局長、考えてください、文言。

◎副委員長（大野慎治君） ちなみに私は一般質問で通告しておりますので、その項目も通告しておりますので、よろしくお願いします。

◎委員長（須藤智子君） みんなコロナのこと多いわね、やっぱりね。

では、2番と5番、5番のひとり親家庭。

これは市は考えていないのかな。国で考えているね。

◎副委員長（大野慎治君） 兵庫県明石市は真っ先にひとり親対策にどんと予算をつけてすぐ助けに行ったという。本当はこれが一番スピード感が要る政策で、これはもたもたしていると本当にお困りになっているので。休業補償や雇用調整金が頂ける会社と頂けない会社があるというのが、かなりの問題が起こっているのです、そういうところの配慮をして、そういうところにはいち早くお金を回してあげたいという思いは僕は一応思っています。

◎委員長（須藤智子君） ほかに御意見はございますか。よろしいですか。

[挙手する者なし]

◎委員長（須藤智子君） じゃあ、ひとり親家庭の支援ですね。

ほかに要望はございますか。

◎委員（谷平敬子君） 公明党のほうでの新たな要望というか、先ほどもテ

イクアウトを今既に行っているということなんですけれども、飲食店で影響を受けている人がたくさんお店のほうもあると思うんですけれども、岩倉市のほうも。市民全員にチケットというか、500円で12枚で6,000円で、それを5,000円で市民が買うという、5セットまで購入が可能な感じで、年齢関係なしと言ったら変ですけれども、イクアウトのやつは小・中、中学校までの子どもさんにといいあれなんですけれども、岩倉市の飲食店のお店を応援するという意味も込めて、そういうのをどうかなと……。

◎委員長（須藤智子君） テイクアウト、飲食店で使う、それに限らず。

◎委員（谷平敬子君） そうです。食事券というか、ちょっとネーミングがあれなんですけれども、例えばごちそう券とか御褒美券とか、そういった感じの何かがあればなという話と、あとはマスクなんですけれども、布製のマスクでい〜わくんのロゴ入りのマスクを世帯に全部配るといのはちょっとお金のほうもかかるかなということで、販売をしてはどうかなと、500円未満ということで。それも市内の業者さんをお願いして、い〜わくんのロゴ入りのマスクを作っただけならなと。また、来年は岩倉市制50周年ということで、健幸都市いわくらということも含めてのそういうグッズの中にこのマスクがあると、また意識も、このコロナもこれから先長く、早く終わってほしいですけれども、啓発というかそういう意味も込めてという、公明党からのあれなんですけれども、以上です。

◎委員長（須藤智子君） 2点、ごちそう商品券と布製のい〜わくんのロゴ入りのマスク。

◎副委員長（大野慎治君） こっちの要望書の裏に書いてある。

◎委員長（須藤智子君） 裏に書いてありますね。

市内飲食店で使用できる食事券、御褒美チケットの販売。500円の12枚つづりで6,000円のチケットを5,000円で販売。1人1,000円お得ということだね。10月末まで使用可。短いね、10月だと。

布製マスク、い〜わくんのロゴ入りの販売500円、市内業者は今作っておるところだね、Tシャツとか。丹羽ベビーさんが。

◎副委員長（大野慎治君） 僕は、シールを貼れる、こういう布製のやつに貼れるようなほうがいいと思いますよ、アイロンで。貼れるほうが、民間事業者さんが利益活動なんで、売れなかったときのことのリスクを考えると、アイロンで貼れるようなものがあつたほうが僕はいいのかなと思います。もし実施するならですよ。こういう布製のマスクを皆さんお持ちなんで、そういった部分でやっていただくというんだつたら分かるけど、新たに作っただくと民間事業者さんに一定の御負担を、利益活動、民間は利益なんで、

行政として一定お金を出すんだったら別ですけど、民間さんをお願いするというのはそんな簡単ではないと思います。

◎委員長（須藤智子君） 今のい〜わくんでも予約制でやっているでしょう。余分に作らないもんね。どうだろうな、マスクね。どうでしょうか、皆さん、御意見を下さい。

◎委員（水野忠三君） ちょっとイメージが持てないところとしては、何個ぐらいマスクを作ったら業者さんは引き受けてくれるんですかね。幾つからという、何個からぐらいという、1個からでいいのか、買い取るのか買い取らないのかみたいなこともあるかと思うんですが。

◎副委員長（大野慎治君） 多分、丹羽ベビーさんも布製のマスクにワッペンなり印刷するなりされると思うので、そういうことになるので、ちょっと要検討が必要だと思います、ここに関しては。

◎委員（谷平敬子君） 私もそう思っているんですけど、単純に詳しいことは聞いていないのであれですけども、ポロシャツにこの50周年のやつで、背中かどこかに50周年とい〜わくん、そういう感じでマスクにプリントするという感じに私的には簡単に思っていたんですけども、それをどれだけのお金で作ってくださるのか、お願いとかそういうのはあれなんですけれども、簡単にそう思っていたんですけども。

◎委員（堀 巖君） やっぱりアベノマスクが不評だったように、一時期、厚生労働省もマスクの感染防止に対する効果みたいなところも発表していて、ただ飛沫防止にはなるけれども、感染を防ぐことはできないといった中でのマスクの着用の是非というのは、さっき学校の中でのこともあるし、つけた人がさっき言ったシールをつけるぐらいならいいですけど、市として事業としてマスクを製造して配るとするのは、ちょっといかがなものかなと私は思います。

◎委員長（須藤智子君） ほかの方は御意見どうですか、マスク。

◎委員（梶谷規子君） いろんなところでボランティアやNPOとか、保育園でもいま、認定こども園なんかでみんな型紙を渡しながら、子どもがちょっと自粛してくださいというんで減った人たちも含めて、みんな器用でしょう、何か作っているというふうにも聞くし、いろんなところでマスクを、本当に創意工夫しながらいろいろやっつけいらっしゃるので、市の事業でまたというのがどうなのかな、全員にマスクというのがと思いますけどね。

◎委員長（須藤智子君） 販売となると難しいよね、やっぱりね。

市が買い取って配るとするのはあれだけど、販売するとなるとなかなか厳しいところがあるなと思って。

ほか、御意見ございますか、マスクについて。

マスクはちょっと今は出回っているし、なかなかこれを販売しようと思うと大変。さばけるかなという気はしますけど。

◎副委員長（大野慎治君） 下本町でワッペン作って出したけど、あるよね、ネーム屋さん。

◎委員長（須藤智子君） はとやさん。

◎副委員長（大野慎治君） あそこになかったけ、つけられるやつって。

◎委員外議員（議長 梅村均君） もともと観光振興会でありましたけどね。

◎委員長（須藤智子君） ワッペンね、アイロンで貼りつけるやつがあった。アイロンか貼り付けか分からないけど、あったね。縫いつけるか、アイロン。ああいうワッペンは売っていたよ。

じゃあ、どうしましょうか。2番のマスクはちょっと却下かな。

1番の御褒美チケットの販売はどうでしょうか。プレミアム商品券がどういうふうに出ているか。

◎副委員長（大野慎治君） さっきの2番のやつに含まれるということなんですよね。

◎委員（梶谷規子君） 具体的に書くんなら、飲食店さんだけでなく、プラススイーツ券みたいなのもつけてほしいという、具体的に言ったらいかんけど、和菓子屋さんとか、やっぱり法事とかなくなり、お茶会もなくなり、もう本当にダウンらしいんですよ。だから、飲食業界、この前いち早く岩倉市独自の10万と県・市の50万と早くしていただいたというんで、いろんところから喜ばれているけど、そういう食事だけじゃなくてプラススイーツ券みたいなのをつけていただくとうれしいなど、どこかの市でやっていたんですよ。そんな具体的にまで書くんなら、プラスしてもらって。

◎副委員長（大野慎治君） 結局プレミアム商品券なんで、ちょっとどこまで広く扱えるかというのは市が決めるんですよ。コンビニでも使えるようにするのか、どこまで使えるようにするのかというのは、プレミアム商品券って、もともと対象をどこまで絞るのかというのは。飲食店の方は当然入りますけど、商工会に入った方の中でとか、協力していただいた中で今もテイクアウトもやっていらっしゃるの、それと同じような事業になるのかなと思います。入った方には多分そういうことはできると思います。

◎委員長（須藤智子君） ただ、金額はプレミアム商品券はもっと大きいかもしれないね。これだと5,000円で購入ということだ。そういう金額的にはいいかもしれないね、要望しても。別口になるのかどうか分からないけど。でも、市は一応プレミアム商品券は検討しているから。

御褒美チケット、市内飲食店で食事できる食事券とスイーツ券、スイーツで使えるように。ケーキ屋さんとかでも使えるということだね、和菓子屋、ケーキ屋。

◎委員（堀 巖君） 繰り返しになりますけれども、要望事項の市内の消費を喚起し事業継続にという、市内の消費を喚起するということで、どこまで広げるかというのは、当局の裁量権もあるし、動向を注視しておかないかんけれども、このことに含まれるという解釈で、今の公明党さんの要望についてはということで整理されたらいかがでしょうか。

◎委員長（須藤智子君） そうですね、入るわね。

今、事業所なんかもいろいろ検討しているんじゃないかな、どこで使えるかというのはね。

よろしいですか、公明党さん、その2番に当たるということで。

谷平さん、いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（須藤智子君） 御提案いただきましたけど、一応2番の要望に入るとということで、2と5は再提出するということでいきますので、お願いします。

ほかに何かございますか。

◎委員（梶谷規子君） 学校の夏休みの真夏の学校給食というのは初めてだと思うので、衛生管理を、新しい給食センターになったから、配膳室も冷暖房、エアコンがついたから、本当によかったなと思っているんですけど、あの暑い配膳室じゃなく。だけど、真夏の学校給食の衛生管理の徹底というのをお願いしたいというのを入れられたらなと思うんですが。それと、さっきの教師の消毒作業の軽減をみたいな、実態を聞いてからじゃないと駄目か。

◎副委員長（大野慎治君） 繰り返しになりますが、担当課を呼んで、ちょっと御協議した中で出したほうがいい。まだ学校再開して1週間もたっていない段階で、それを出すというのはいかがなものかと。やっぱり僕たちも調査もせず聞いた話でという話はちょっとよくない、議会は。協議した中で提言したほうがいいと思います。

◎委員長（須藤智子君） じゃあ、この2つについては、まだ学校関係はもうちょっと様子を見てやったほうがいいということですので、当局を呼んで聞かないかんかね。

〔発言する者あり〕

◎委員長（須藤智子君） じゃあ、議会中の18日に行いますので、そのときに教育課の職員さん、お願いします。

事務局いいですか。では、お願いします。

ほかにございますか。

◎委員（水野忠三君） 感染症対策と直接関係あるかと言われると、ちょっと疑問ではあるんですが、政府から1世帯2枚のマスク、アベノマスクというふうにおっしゃっていましたが、あれが不要だという方もちょっと自分がお伺いする中でもいらっしゃって、それで有効活用ということで、回収箱などを設置して回収して、マスクの寄附などに活用したらどうかという御意見をお伺いして、市のほうでも何らかの検討をされているようには仄聞いたしておりますけれども、そういうのは要望としては回収ボックスを設置するみたいなのはいかがでしょうか。

◎委員長（須藤智子君） 不要マスクの回収ボックスの設置。何かあったんじゃない。

◎副議長（鬼頭博和君） 昨日のかわらばんの中に入っていたんですけど、市民活動支援センターが中心になって、市内何か所かで回収ボックスを置くというのが配られていましたので、多分それのできるのかなというふうに思います。

◎委員長（須藤智子君） 公民館でということやね。

〔発言する者あり〕

◎委員長（須藤智子君） ゆずりマスク。

◎委員（堀 巖君） 今のって、かわらばんに書いていただけであって、議会に対して市当局から何の説明もないですよ。初めて聞いたんですけど、要は協働課が支援センターの窓口で、どういうルートでどういうふうに決まったのかというのは、それこそ本部会議の中ではどういう説明があったんでしょうか。

◎委員外議員（議長 梅村均君） 本部会議の中で、こういう回収箱を他市町とかもやっているようなことも聞きながら、岩倉市でも検討していかなきゃいけないという話題は出ていて、それは聞いておりますけれども、具体的に設置するというような報告というか、そういうことはまだ聞いていないですね。

◎副委員長（大野慎治君） 一般的にお国からいただいたマスクというのは、本当は洗って使えるように避難袋に入れていただくほうが正しいと思っているんで、僕は。本来はマスクを入れていなかったとか、マスクを今回使っちゃったという方に、それを洗えるマスクを入れておくというためにそういうことがあるので、趣旨がちょっと違うので、議会としてどうだというのは、市民活動支援センターの皆さんが活動していただけることはとてもありがた

いですが、本来はちょっとどうかなと思います。本来は避難袋に入れていただくというものだと思います。

◎委員長（須藤智子君） 一応、要望は出さなくていい、マスクの。

◎副委員長（大野慎治君） 市民活動支援センターが活動していただいているので、新たに出す必要はないと思います。

◎委員長（須藤智子君） ほかに何か御意見ございますか。

◎委員（水野忠三君） テイクアウトチケットのほうなんですけれども、先ほどの給食の話とちょっと関連するかもしれませんが、今後食中毒とか、気温とか湿度が上がっていきますので、テイクアウトの食材を食中毒対策などが必要ではないかという御意見を頂いたのと、あとはデリバリーとか本当はそういうマッチングをしてくれるといいなという、要するに家にいても届けてもらいたい配送業者さんかボランティアか、そういう方とのマッチングをしていただくといいなという御意見を頂きました。

◎委員長（須藤智子君） テイクアウトとデリバリー。

◎委員（水野忠三君） そうですね、テイクアウトをやっている業者さんの作ったものを届けてくださる方と、その飲食店でテイクアウトをやっている方のマッチングという。

◎副委員長（大野慎治君） 愛知県さんの予算で、それはもうついているんですね。それをやるかやらないかは、商工会さんなり何か判断することであって、それはもう予算がついているんで、その判断は店舗さんや皆さんが判断することなんで、議会として要望することじゃなくて、愛知県でもう予算化されて、もう皆さんに、各商工会さんや発展会さんや、そういうところに通達が行っていることになっているので、よろしくをお願いします。

◎委員長（須藤智子君） ほかに御意見、要望ありますか。よろしいですか。
〔挙手する者なし〕

◎委員長（須藤智子君） じゃあ、一応2番と5番をもう一度再要望いたします。

次회가6月17日の午前10時から、またこの特別委員会を行いますのでよろしくをお願いします。

そのときには教育課の方に来てもらって、ちょっと学校の様子とかをお聞きしたいと思いますので、お願いします。

〔発言する者あり〕

◎委員長（須藤智子君） じゃあこれを全議員に配ってください。レターボックスに入れてもらって、一応開会日の終了後、また要望書について皆さんの意見を聞いて、出すか出さないかを決めるということでもよろしいですか、

4日で。

〔「分かりました」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（須藤智子君）　じゃあ、4日、議会終了後にまたお集まりください。お願いします。

ほかに何かありますか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（須藤智子君）　じゃあ、これで新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会を終了いたします。お疲れさまでした。